



黒須大一郎 議員
(白岡ビジョン)

問 地域部活動推進事業を進めるにあたり

9月1日現在、他に先駆けて進めている本事業を教育長が不在では万全の体制で進められるとは言い難い。市長は教育長の任命責任者として、教育長の後任をいつまでに決めるのか。また、現在はどの段階なのか。

答 教育委員会一丸となって本事業を進める

教育長不在という状況が、本事業の推進に影響を与えることのないよう、教育委員会一丸となり、万全の体制で本事業を進めていく。また、教育行政を円滑に推進するため、議会の同意を得て1日も早く教育長を任命したいと考えている。

問 事実と違う回答を市長への手紙でしたのか

今年7月8日の市長への手紙における20代の方からのさいたま栗橋線沿いの歩道整備等の要望で、「県では関係地権者との交渉を行っている」と回答した。地元地権者に聞いてもそのような動きは最近ない。市長への手紙の回答はなぜ事実と異なることになったのか。

答 県に要望を続けていく

県道さいたま栗橋線の歩道未整備区間については、地権者からの相談を受けた場合に埼玉県では交渉を行っているとのことだが、平成18年度の土地の買収以来、事業が進捗していない。歩行者の安全確保のため、引き続き整備を要望していく。



平成23年に同意書を提出しているが、歩道整備が止まっている篠津の県道3号線



加藤一生 議員
(新風の会)

問 「エリアマネジメントの協定締結」は

①「エリアマネジメント」とは何か。「協定」の中身は。成果をいつまでに出すのか。②区長に提案し、全市民にその活動を開始してもらいたいではないか。③この「協定」の進捗状況及びその内容はどのように公開・報告されていくのか。

答 新白岡駅周辺地域で取組を推進していく

住民・事業主・地権者等が主体となって地域の価値を向上させるまちづくりの手法である。新白岡駅周辺地域における当該手法の取組推進について、街活性室(株)と協定を締結した。取組の内容や成果については、機会を捉え、市民や議会に周知・報告していく。

問 天使幼稚園の前の道の車歩道分離化は

①現在、当該道路箇所の車歩道分離化の動きはどうなっているのか。②いつ実現されるのか。

答 交通安全施設を活用した整備を進める

①車歩道分離化は、幅員が6mの道路のため、新たに歩道を設置することは難しいが、交通安全施設を活用するなど工夫をしながら、安全と排水先の確保のため整備を進めていく。②現在、測量設計を実施しているため、工事着手は、来年度以降の見込みとなる。



天使幼稚園の前の道路